

日本人のよんだ漢籍 貴重書と和刻本と （平成23年度筑波大学附属図書館特別展チラシ）

著者	筑波大学附属図書館
内容記述	会期 平成23年9月22日（木）～10月21日（金） 会場 筑波大学附属図書館（中央図書館 貴重書展示室） 特別講演会「日本人のよんだ漢籍」 10月9日（日）13:30～15:30 講師 谷口孝介（大学院人文社会科学研究科文芸・言語専攻教授）
URL	http://hdl.handle.net/2241/00138441

貴重書と和刻本と

日本人のよんだ 漢籍

子曰學而時習之不亦說乎有
朋自遠方來不亦樂乎人不知
而不愠不亦君子乎

子曰學而時習之
子也王肅曰時者陳
誦習以時學無廢業
遠方來不亦樂乎
不君子乎

學而時習之不亦說乎
子曰此言以下孔子曰
之為言此言以下孔子
虎通ニ覺ナリト先王ノ道ヲ用イテ人
積ニテ君子ノ徳ヲナスナリ其學ニ三時アリ
ト云ハ内則ニアル如ク六年教之數歳分名七
年教之數年十年學書計十三年學樂
幼年ノトキハホモツヨク忘レサルモノナリ
吹ニナフベキ時ニ及テマナブラ先トスル
書禮コレハ詩書禮樂クニナフ
五ノマテ古聖王ノ

子曰君子乎
不亦樂乎
而時習之不亦樂乎

子曰學而時習之不亦樂乎
子曰之通義謂孔子也五商
曰學者以時誦習之誦習故
不廢業所
有朋自遠方來不
知也人不知而不
愠也



平成 23 年

9/22 木 ~ 10/21 金

入場無料

※10/15 土・16 日 は閉室

平日 9:00 ~ 17:00

土日祝 10:00 ~ 17:00

特別講演会 「日本人のよんだ漢籍」

10/9 日 13:30 ~ 15:30

講師 谷口 孝介

大学院人文社会科学部研究科文芸・言語専攻教授

主催 筑波大学附属図書館／大学院人文社会科学部研究科

会場 筑波大学附属図書館（中央図書館 貴重書展示室）

日本人のよんだ漢籍 貴重書と和刻本と

日本人は古代から中国の文物を愛し、影響を受けてきました。『遊仙窟』などのように中国では散逸したものの、日本にのみ伝わる書もあります。

本特別展では、筑波大学附属図書館所蔵貴重書の中から、『論語』、『文選』、『白氏文集』など、日本人が古代から愛着をもって読んできた漢籍と、その一般への普及に貢献した訓点付きの和刻本を並べて展示し、日本人が漢籍を受け入れてきた実相を示します。あわせて近代日本漢学の様相を知るよすがとして、新収資料「鈴木虎雄関係史料」の一部を初めて展示・紹介します。



『遊仙窟鈔』



『長恨歌伝』

「鈴木虎雄関係史料」について

中国文学者・鈴木虎雄(1878～1963)は『支那詩論史』『支那文学研究』等により近代漢学に大きな業績を残し、1961年に文化勲章を受章しました。また、^{ひょうけん}豹軒(漢詩)、^{やくぼう}葯房(短歌)の号を持つ漢詩人・歌人としても知られています。

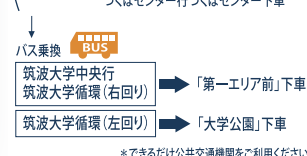
本学では、平成22年3月に、御子孫から書状・書画等約760点の寄贈を受けました。自筆の漢詩文の他、舅である明治時代の新聞人・^{くがかつなん}陸羯南(1857～1907)からの書簡も含まれている貴重なコレクションです。

主要展示書目

論語集解(室町時代写)	十巻五冊
古文尚書(1514年写)	零本(巻八)一冊
文選(明版1522年刊)	六十巻二十冊
白氏文集(1618年刊)	七十一巻十四冊
遊仙窟(江戸初期刊)	一冊
歴聖大儒像(1632年画)	六幅
和漢朗詠集(1572年写)	二巻二冊

交通案内

つくばエクスプレス つくば駅下車
JR常磐線 土浦駅・荒川沖駅・ひたち野うしく駅下車
東京駅八重洲南口より常磐高速バス
つくばセンター行つくばセンター下車



※できるだけ公共交通機関をご利用ください。